

2020年11月発行

茨木御堂 第274号



真宗大谷派



茨木別院

(輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

おが
もの
拝まない者もおがまれている
拝まないときもおがまれている

今年も報恩講の時期がやってまいりました。報

恩講は真宗門徒にとって何よりも大切な御仏事とされてきました。しかしながら今年の報恩講につきましては、今だ収束の目途が立たない新型コロナウイルス感染症対策により例年通りの日程で勤修できない状況にあり、いろんな面で縮小したかたちでおつとめすることになりました。報恩講をおつとめするためにこの一年間があった(真宗門徒の生活は、報恩講にはじまり、報恩講におわると言われています)と言えることからして、簡略報恩講はまさに痛恨の極みであります。

さて、報恩講は報恩謝徳の御仏事であるとも示されています。読んで字のごとく、恩に報いるということでもあります。親鸞聖人を始めとして、親鸞聖人に連なり、自らは聞法を尽くして、我々後世の人々のため、念仏の教えを聞く場をつくり、念仏の教えを営々として今日にまで伝えてくださった先達やご先祖様方にたいし、そのご恩に報いるということでもあります。

その恩に報いる報い方は、親鸞聖人や先達それに亡くなっていかれた先祖、つまり諸仏様方の願いである信心を得るということでありましょう。蓮如上人の御文に、さかんに見られますのが信心獲得というお言葉です。この信心獲得することこそが御恩に報いる最大の報い方であろうと思います。

正信偈には、

「本願名号正定業」

本願の名号すなわち南無阿弥陀仏の名号こそ真実の言葉となつて、人が生きて往く道を正しく定めるはたらきをしています。

「至心信樂願為因」

至心信樂の願、すなわち第十八願の名号に込められた、真実に目覚ませようとの心が、私たちのいのちの根源にはたらきかけ、呼び覚まします。

とあります。

つまり、愚かで、しかも自己中心的な生き方しかできず、迷いに迷っているこの私に、早くそのことに目覚めよと必死になつてはたらきかけていくくださる本願の名号のお心に、正に早く目覚めて(これを信心獲得といいます)、本来の自分に帰らせていただいたことに無上の喜びをもつて、「ありがとうございました」と頭を垂れて念仏もうす(これを報恩謝徳といいます)ことこそが、恩に報いるという報恩講の本来の意味合いではないかと思ふのであります。

南無阿弥陀仏(輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

11月

●おみがきのご奉仕

日 時 5日(木) 午前10時より
会 場 別院本堂

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日 時 5日(木) 午後1時半より
会 場 別院会館
講 師 加藤 恵氏

●みほとけの歌の会

日 時 9日(月) 午後1時半より
会 場 別院会館

●報恩講

日 時 14日(土)
15日(日) 詳細は5頁ご案内
16日(月)

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日 時 28日(土) 午後1時半より
会 場 別院会館
講 師 茨木別院輪番

12月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日 時 5日(土) 午後1時半より
会 場 別院会館
講 師 加藤 恵氏

●みほとけの歌の会

日 時 14日(月) 午後1時半より
会 場 別院会館

●除夜の鐘・修正会

日 時 31日(木) 午後11時半頃より
引き続き午前0時半より
本堂にて「修正会」のお勤め



*11月・12月の本山九日講は休講です

*12月の婦人会例会はお休みです

**11月13日(金)～16日(月)の月忌参りは
報恩講準備等の為、お休みさせていただきます**

おみがきの
ご奉仕の案内

日時 十一月五日(木)
午前10時より

会場 茨木別院本堂

十一月に茨木別院の報恩講の法要が勤まります。法要にあたり、仏具の「おみがき」を行ないます。

仏具をみなさんと綺麗に磨き上げて報恩講をお迎えしたいと思います。

たくさんの方のご参加お待ちしております。



除夜の鐘・修正会

日時 十二月三十一日(木)
・一月一日(金)

十二月三十一日に除夜の鐘撞きを開催します。午後十一時半頃より鐘を撞き始める予定です。多数のご参加お待ちしております。

除夜の鐘に続いて「修正会」のお勤めも行います。みなさんご一緒にお勤めして新年を迎えましょう。



一日一日、日没時間が早まっています。気が付けばもうすぐ“立冬” 冬への心構えをして行く時期ですが、今年はその心構えも例年よりきびしくなりそうです。そんなコロナ禍の中ではありますが、子どもたちは日々元気に園庭を駆け回っています。11月、12月も色々な行事が待っています。これらも「例年どおり」とはいきませんが、子どもたちの成長を感じられる場としていきたいと職員一同思っています。



11月 2日(月) 1日動物村
6日(金) 年長組みかん狩り
9日(月) 誕生会(11・12月)

12月 17日(木) 音楽会
18日(金) 終業式
29日(火)～1/3(日) 年末年始休園

※ 行事は変更される場合があります。



★おしらせ★

2021年度に1号認定で入園予定の方へ

1月8日(金) 14:30から 1日入園&入園説明会を行います。

入園予定のお子さんが1日入園をされている間、保護者の皆さんへ入園に向けての準備等の説明を行います。筆記用具の準備をお願いいたします。

子どもたちに人気の献立紹介 和風肉うどん



<材料>大人5人分

牛肉 300g

人参 1本…千切り

玉葱 1個…薄めスライス

もやし 150g

白葱 1本…斜め薄めスライス

卵 3個

きざみ葱 適宜

うどん玉 5玉

水 1000cc

(調味料) ㊟ 濃口しょうゆ 大さじ2.5・砂糖 大さじ1

㊤ 薄口しょうゆ 大さじ4・濃口しょうゆ 大さじ2

みりん 大さじ1・砂糖 大さじ1・塩 ひとつまみ

<作り方> ①鍋に油をひき牛肉を炒め、㊟の調味料で味付けする

②別鍋に水を入れ昆布と出し鰹で出汁をとる

③ ②の中に人参→玉葱→もやしの順に入れ火を通す

④ ㊤の調味料で味付けをする

⑤ 汁けを切った①の肉、白葱を入れ、卵を溶いて入れる

⑥ 温めたうどんにかけ、葱をのせる



園長の一言

先日行われました学園の作品展をご覧いただいたことと思います。いかがでしたでしょうか。わが子の作品をどのように見てくださいましたでしょうか。

これまでに子どもの「育ち」には「遊び」がとても大切であることを中心課題としてお話ししてまいりました。「遊び」と言いつてもさまざまあるのですが、大人の頭の中では遊びと勉強、遊びとお手伝い、という具合にはつきりと分けて考えることしかできません。保育者の場合、遊びの本質を知らない人は一人もいないと思います。保育士や幼稚園の先生になりたいと、一生懸命に勉強してきた人ですから。しかし、そうだからと言って日常の保育そのものが「遊び」を主体に置いたものになっているとはなかなか言えません。明治時代にはじまった日本の幼稚園教育は長い歴史のなかで「遊び」よりも「教育」に主体を置いたような道をたどってきました。いばらき大谷学園は幼稚園であった歴史の方が長かったので、認定こども園になっても以前の幼稚園教育が捨て切れないまま今日に至っています。

さて、このことを踏まえて作品展の話に戻ります。基本的

には「遊び」としての製作活動という視点をもっていなければならぬと思います。ややもすると多くの親御さんは他の子どもの作品と比較して我が子の作品を評価したり、実際に我が子が作品の中で表現しようとしていることを観ていなかったのではないかと。例えば描いた線ひとつにも、小さな丸ひとつにも、子どもの思いや、発達の段階が見えているものです。だからこそ、子どもの表現したい思いを感じ取ったり、聞き取ったりして、その子の育ちを共感していくことが必要なのです。また、製作の技法として、描き方や色使いなどを気にします。しかしそういうことよりも、子どもが描きたい、作りたいという気持ちの高まりが最も大切だと思います。だからこそ保育者は、作品を作る前の手立てを真剣に考える必要があります。描きたいという気持ちが高まると、興味を持って深く観察したり、想像したりします。描き始めた時は子どもの思いを見守っていく。描くことが頂点に達すると、子どもは発見の楽しさを享受し、描き方を自分で工夫したりして学ぶ嬉しさを感じ取る等々、このことが絵画製作をはじめとした製作活動全体の「遊び」ではないかと考えています。

園長(高木文善)



2020年度

茨木別院 報恩講 ご案内



11月14日[土] → 16日[月]

日	時 間	報恩講日程	備 考
14日 (土)	13:30 15:00頃	逮夜のお勤め 法 話 御伝鈔拝読	
15日 (日)	7:30 10:30	晨朝のお勤め 日中のお勤め 法 話	* 本年はコロナ禍の状況に考慮し、 おぜんざいの接待は中止させて いただきます。
	13:30	結願逮夜のお勤め 御俗姓拝読 法 話	各別院輪番拝礼
16日 (月)	7:30	結願晨朝のお勤め	
	10:30	結願日中のお勤め 法 話	



講 師 武 宮 信 勝 氏 (天満別院輪番)

講 題 「愚者になりて往生す」

*14日/逮夜、15日/日中・結願逮夜、16日/結願日中の計4座ご法話いただきます。

- 今年度のみほとけの歌の会のコーラスの披露は中止させていただきます。
- 例年15日に行っているおぜんざいの接待は中止いたします。
- お参りの際には新型コロナウイルス感染予防のため、検温、消毒、マスクの着用等ご協力よろしくお願い致します。



九月に茨木別院のご門徒が帰敬式を受式されました。仏弟子としての誓いの言葉を述べられ法名を授与されました。

帰敬式



九月十九日二十日に秋季彼岸会のお勤めをしました。たくさんの方にお参りいただきました。また、王来王家純也氏が法話の講師として来られました。久しぶりに講師をお迎えしての開催となり、みなさん熱心に聴聞されていました。

秋季彼岸会

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

法名 無量院釋泰然

俗名 槌野泰治

七十八歳

法名 照護院釋真信

俗名 瀧川 信人

七十二歳

法名 釋尼愛心

俗名 津中 アイ

一〇一歳

法名 釋尼心香

俗名 大西 香奈美

五十六歳

法名 芳香院釋尼俊昭

俗名 岡田 俊子

九〇歳

編集後記

今年も報恩講を迎えることとなります。みほとけの歌の会のコーラス・おぜんざいの接待が中止になる等、なかなか例年通りにはいきませんが、コロナの感染対策をしっかり行い、安心してお参り頂ける準備をしたいと思っています。

岡崎 康祐

報恩講をお迎えする時節になりました。コロナ禍の影響で自粛や中止を余儀なくされる集まり事も多いことかと思いますが、こんなご時世だからこそ、仏法に触れ、聞法できる大切なご縁を大切にしたいだけだからと願います。

墨林 尚顕

帰敬式を受けられ生前に法名をいただくことで改めて真宗門徒の生活という事に気づかされます。受式を迷われている方は是非受けてみてはいかがでしょうか。

竹内 明人

株式会社 花 廣

— 生花・供花・けいこ花 —

茨木市大手町 二二一八

☎(〇七二)六二二一四〇二